

HAKKO

Vol. 17

2023.02

かわら版

ミライ発酵本舗

近者悦、遠者来



われわれは、われわれの歴史の中にわれわれの未来の秘密がよこたわっていることを本質に知る。

岡倉天心

東京美術学校の成立に大きく貢献し日本美術の成立に寄与した天心の言葉です。オットーボルノー同様、古今東西本質を見つめるとき、考えは合一になるのが伝わります。



雛飾り 上組 摂田屋6番街発酵ミュージアム・米蔵

今年も3月7日までの期間、雛飾り・お雛様を展示しております。「上巳の節句」「桃の節句」とも伝わる古来からの大切な行事です。

上巳の節句のときには桃の花のお酒を愛飲したり、桃の葉を使ったお風呂に入ったりして厄払いをしていたといわれています。それも、季節の「節」の時期は、古来から邪気が入りやすいと信じられていたからです。やがて紙などで作った人形で体をなでることによって穢れを人形に移し邪気払いをするなど変化していきました。

江戸時代になり、女の子の健やかな成長と幸せを願うための行事として広く庶民に定着し、人形も豪華な飾り雛がどこかしこで3月の頃飾られるようになっていきました。古くからの歴史がある雛祭り、理だけでははかれない先人たちの感性が集積した文化なのです。みな様、是非ご覧くださいませ。

宮内摂田屋今昔物語

1962

ご近所さまから昭和三十七年上組小学校卒業アルバムをお預かりしました。この時の卒業生、先輩方は現在（いま）も街で活躍されています。街を守る役割・町内会長をつとめられる方、歴史ある味噌醤油蔵を営まれる方、日本酒や薬酒を造り広められる方、巣舞づくりを提唱し笑顔生まれる建築設計を提案される方、街に元気を与えつつける先輩方がいます。みな様と「まざり、つながり」そして、素敵な出来事が年月を重ねるごとに生まれそうです。

宮内摂田屋今昔物語

2023

発酵trip打ち合わせ風景と撮影取材本番



上組小学校の子どもたちが、我がことのように地域振興をかんがえ、いろいろな場面で発出しています。一月二十八日には「まざり」企画展を開催。先輩方の率先垂範する姿が連綿と受け継がれているようです。

現在（いま）宮内摂田屋の賑わいある古写真をかわら版で紹介いたしたく探しています。もし、素敵な写真がありましたら是非エピソードと併せてお聞かせいただければ幸甚です。かわら版編集部

昭和37年3月

卒業記念

長岡市立上組小学校

